



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 杉田エース株式会社

コード番号 7635 URL <https://www.sugita-ace.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 裕介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐藤 正 TEL 03-3633-5150

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月9日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	71,400	27.6	928	233.8	1,091	184.0	600	164.1
2022年3月期	55,975	—	278	—	384	—	227	—

(注) 包括利益 2023年3月期 656百万円 (235.1%) 2022年3月期 195百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	111.85	—	5.7	2.9	1.3
2022年3月期	42.35	—	2.2	1.1	0.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しております。2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	39,139	10,859	27.7	2,024.11
2022年3月期	36,969	10,364	28.0	1,931.80

(参考) 自己資本 2023年3月期 10,859百万円 2022年3月期 10,364百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,412	△22	△1,162	4,686
2022年3月期	223	△2,634	3,043	4,459

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	160	70.8	1.6
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	214	35.8	2.0
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		33.3	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	73,800	3.4	1,000	7.7	1,100	0.8	645	7.5	120.22

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	5,374,000株	2022年3月期	5,374,000株
2023年3月期	8,853株	2022年3月期	8,853株
2023年3月期	5,365,147株	2022年3月期	5,365,147株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(1株当たり情報)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は続いたものの、行動制限緩和などにより経済活動は正常化へ向けた動きが進みました。一方で急激な為替相場の変動や世界的な原材料価格、エネルギー価格の高騰などもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅建設業界におきましては、持家の着工と首都圏のマンション総販売戸数は弱含みで推移し、貸家及び分譲住宅の着工は底堅い動きとなりました。

このような経営環境下において、建築資材商品、防災商品及びアウトドアリビング商品の拡販に努めました。更に、当社ECサイト「スギカウ」においては「スギカウSUPER SALE 2022」を開催し、3月には当社直需事業のホームセンター向け販路の強化・拡充を図るため株式会社モリギンを吸収合併しました。

7月、8月、12月には、長期保存食「IZAMESHI」新商品の発売、10月にはデザインイベントに参加し、アウトドアファニチャー「PATIO PETITE」の特別展示等を行いました。

当社グループの売上高につきましては、建設資材の高騰により仕入価格が上昇しましたが、販売価格への転嫁やVE提案により拡販を進め、更に営業マネジメントを強化した効果や昨年3月に子会社化したフヨー株式会社の売上高が通年で寄与したことにより、当社グループの売上高は初めて700億円を超えました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高71,400百万円（前連結会計年度比27.6%増）、営業利益928百万円（同233.8%増）、経常利益1,091百万円（同184.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益600百万円（同164.1%増）となりました。

セグメント別の商品区分別売上高は次のとおりであります。

商品区分	ルート事業	直需事業	計	構成比
住宅用資材（百万円）	35,337	—	35,337	49.4%
ビル用資材（百万円）	27,258	—	27,258	38.2%
DIY商品（百万円）	166	4,602	4,769	6.7%
OEM関連資材（百万円）	—	1,483	1,483	2.1%
その他（百万円）	2,551	—	2,551	3.6%
合計（百万円）	65,313	6,086	71,400	100.0%

①ルート事業（ルート事業は、金物販売店や建材商社、金属工事業者等へ住宅用資材及びビル用資材等を販売しております。また、設計・加工・施工機能による現場サポート営業も行っておりリニューアル専門会社、ゼネコン等へ多様な金属建材のオーダー対応等お客様の課題やニーズにあったソリューションの提供を行っております。）

ルート事業については、工事物件の物流倉庫やマンション建設等が増加したことと、資材の価格改定前の駆け込み需要も重なったことによりビル用商品、住宅用資材の販売が好調に推移しました。また、フヨー株式会社を子会社化したことにより、シーリング材、防水材等の建築副資材の販売が伸長しました。

この結果、ルート事業全体の売上高は65,313百万円（前連結会計年度比29.9%増）となりました。

②直需事業（直需事業は、アウトドアファニチャー「PATIO PETITE」や長期保存食「IZAMESHI」、ガーデンアイテム、雑貨、DIY商品等をホームセンター、通販会社等へ販売しております。また、ハウスメーカーや建材メーカーへはOEM商品を含む建築金物を販売しております。）

直需事業については、OEM関連資材は集合住宅用商材・ビル物件向け商材が横ばいに推移しました。ホームセンター向けのDIY商品は、巣ごもり需要が減少傾向でしたが、年度末にかけて防犯対策商品の需要が高まり、ホームセンター向けの販売額が増加しました。また、通販関連企業においても防犯対策商品の需要が高まると共に、住宅関連商材は引き続き堅調に推移しました。

この結果、直需事業全体の売上高は6,086百万円（同7.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況**(資産)**

当連結会計年度末における資産は39,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,170百万円増加しました。

流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が1,432百万円、電子記録債権が662百万円、棚卸資産が317百万円、それぞれ増加しました。固定資産は、有形固定資産が143百万円、無形固定資産が131百万円、投資その他の資産が31百万円、それぞれ減少しました。

(負債)

当連結会計年度末における負債は28,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,674百万円増加しました。

流動負債は支払手形及び買掛金が707百万円、電子記録債務が1,514百万円、それぞれ増加しました。固定負債は、長期借入金が778百万円減少しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は10,859百万円となり、前連結会計年度末に比べ495百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は27.7%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ227百万円増加し4,686百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,412百万円(前連結会計年度比532.2%増)となりました。

主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,069百万円、減価償却費317百万円、のれん償却額86百万円、仕入債務の増加による資金の増加2,136百万円、売上債権及び契約資産の増加による資金の減少1,973百万円、棚卸資産の増加による資金の減少238百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は22百万円(前連結会計年度は2,634百万円の使用した資金)となりました。

主な内訳は、定期預金の払戻による収入69百万円、投資有価証券の売却による収入82百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出171百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,162百万円(前連結会計年度は3,043百万円の得られた資金)となりました。

主な内訳は、長期借入れによる収入400百万円、長期借入金の返済による支出1,236百万円、配当金の支払額160百万円であります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率（％）	28.0	27.7
時価ベースの自己資本比率（％）	14.2	13.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（倍）	26.2	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	28.6	44.3

- ・自己資本比率 → 自己資本／総資産
 - ・時価ベースの自己資本比率 → 株式時価総額／総資産
 - ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 → 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
 - ・インタレスト・カバレッジ・レシオ → 営業キャッシュ・フロー／利払い
- ※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式を除く）により算出しております。
- ※営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、インバウンド需要の回復に伴う建設事業の回復も見込まれるものの、金融不安および地政学的リスクの顕在化による世界経済の悪化等の懸念材料も多く、不透明な状況が続くと想定され、また、物価上昇や供給の遅れ等による影響も懸念されます。

当社の事業活動におきましても、上記の影響を受けて、設備投資の減少と資材不足、資材価格の値上げ等によって、建築計画の見直しや着工の延期等の可能性があります。

このような環境の中、当社グループは、子会社とのシナジー効果の追求や営業体制の強化によって、既存事業を拡大し、また新規事業についても着実に事業基盤を強化する所存であります。

以上により、当社グループの次期の業績予想につきましては、売上高73,800百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益645百万円を見込んでおります。

なお、同業績予想は資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,517	4,686
受取手形、売掛金及び契約資産	13,464	14,896
電子記録債権	3,195	3,857
棚卸資産	4,209	4,527
未収入金	1,094	937
その他	59	112
流動資産合計	26,542	29,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,075	7,073
減価償却累計額	△4,275	△4,427
建物及び構築物(純額)	2,799	2,645
土地	4,013	4,013
その他	1,339	1,332
減価償却累計額	△1,156	△1,139
その他(純額)	182	193
有形固定資産合計	6,996	6,852
無形固定資産		
ソフトウェア	149	106
のれん	864	778
顧客関連資産	148	133
その他	205	218
無形固定資産合計	1,368	1,236
投資その他の資産		
投資有価証券	828	882
繰延税金資産	340	327
その他	894	822
投資その他の資産合計	2,063	2,032
固定資産合計	10,427	10,121
資産合計	36,969	39,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,193	7,901
電子記録債務	10,349	11,863
1年内返済予定の長期借入金	839	791
未払法人税等	211	495
賞与引当金	369	419
その他	1,102	1,022
流動負債合計	20,066	22,493
固定負債		
長期借入金	4,908	4,129
退職給付に係る負債	468	464
役員退職慰労引当金	590	630
資産除去債務	83	83
その他	487	478
固定負債合計	6,538	5,787
負債合計	26,605	28,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	9,217	9,656
自己株式	△4	△4
株主資本合計	10,320	10,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	66
退職給付に係る調整累計額	△7	34
その他の包括利益累計額合計	44	100
純資産合計	10,364	10,859
負債純資産合計	36,969	39,139

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	55,975	71,400
売上原価	48,069	61,472
売上総利益	7,906	9,927
販売費及び一般管理費	7,628	8,999
営業利益	278	928
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	15
仕入割引	108	138
受取家賃	47	54
保険解約返戻金	—	35
その他	16	39
営業外収益合計	187	284
営業外費用		
支払利息	7	31
手形売却損	10	10
売上割引	59	73
その他	2	4
営業外費用合計	80	120
経常利益	384	1,091
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	73	1
負ののれん発生益	—	35
特別利益合計	73	36
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
店舗閉鎖損失	—	52
減損損失	—	6
特別損失合計	0	58
税金等調整前当期純利益	458	1,069
法人税、住民税及び事業税	204	502
法人税等調整額	25	△33
法人税等合計	230	469
当期純利益	227	600
親会社株主に帰属する当期純利益	227	600

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	227	600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	14
退職給付に係る調整額	13	41
その他の包括利益合計	△31	56
包括利益	195	656
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	195	656

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	697	409	9,163	△4	10,266
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△12	—	△12
会計方針の変更を反映した当期首残高	697	409	9,151	△4	10,253
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△160	—	△160
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	227	—	227
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	66	—	66
当期末残高	697	409	9,217	△4	10,320

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	96	△21	75	10,341
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	△12
会計方針の変更を反映した当期首残高	96	△21	75	10,329
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△160
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	227
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△44	13	△31	△31
当期変動額合計	△44	13	△31	34
当期末残高	51	△7	44	10,364

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	697	409	9,217	△4	10,320
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	697	409	9,217	△4	10,320
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△160	—	△160
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	600	—	600
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	439	—	439
当期末残高	697	409	9,656	△4	10,759

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	51	△7	44	10,364
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	51	△7	44	10,364
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△160
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	600
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14	41	56	56
当期変動額合計	14	41	56	495
当期末残高	66	34	100	10,859

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	458	1,069
減価償却費	269	317
のれん償却額	—	86
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	40
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	49
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	0	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11	21
受取利息及び受取配当金	△15	△16
支払利息	7	31
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△73	△1
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
減損損失	—	6
店舗閉鎖損失	—	52
負ののれん発生益	—	△35
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△945	△1,973
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7	△238
未収入金の増減額(△は増加)	46	92
その他の資産の増減額(△は増加)	1	△50
仕入債務の増減額(△は減少)	826	2,136
その他の負債の増減額(△は減少)	△116	36
小計	477	1,627
利息及び配当金の受取額	15	16
利息の支払額	△7	△31
法人税等の支払額	△261	△198
営業活動によるキャッシュ・フロー	223	1,412
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	69
有形及び無形固定資産の取得による支出	△487	△171
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
投資有価証券の売却による収入	97	82
有形固定資産の売却による収入	—	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,210	—
貸付けによる支出	—	△23
貸付金の回収による収入	0	0
合併による収入	—	11
その他	△29	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,634	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△165
長期借入れによる収入	3,700	400
長期借入金の返済による支出	△495	△1,236
配当金の支払額	△160	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,043	△1,162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	632	227
現金及び現金同等物の期首残高	3,826	4,459
現金及び現金同等物の期末残高	4,459	4,686

（5）連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品の種類、販売先の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、ルート事業と直需事業の2事業を報告セグメントとしております。

ルート事業は、金物販売店や建材商社、金属工事業者等へ住宅用資材及びビル用資材等を販売しております。また、設計・加工・施工機能による現場サポート営業も行っておりリニューアル専門会社、ゼネコン等へ多様な金属建材のオーダー対応等お客様の課題やニーズにあったソリューションの提供を行っております。

直需事業は、アウトドアファニチャー「PATIO PETITE」や長期保存食「IZAMESHI」、ガーデンアイテム、雑貨、DIY商品等をホームセンター、通販会社等へ販売しております。また、ハウスメーカーや建材メーカーへはOEM商品を含む建築金物を販売しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ルート事業	直需事業	
売上高			
外部顧客への売上高	50,296	5,678	55,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	50,296	5,678	55,975
セグメント利益	1,601	19	1,621
セグメント資産	25,227	3,404	28,631
その他の項目			
減価償却費	118	34	152
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	32	264	297

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ルート事業	直需事業	
売上高			
外部顧客への売上高	65,313	6,086	71,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	65,313	6,086	71,400
セグメント利益	2,342	19	2,361
セグメント資産	26,859	3,321	30,180
その他の項目			
減価償却費	162	43	205
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	54	12	66

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	55,975	71,400
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	55,975	71,400

（単位：百万円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,621	2,361
全社費用（注）	△1,343	△1,433
連結財務諸表の営業利益	278	928

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（単位：百万円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	28,631	30,180
全社資産（注）	8,338	8,959
連結財務諸表の資産合計	36,969	39,139

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金並びに本社有形固定資産であります。

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	152	205	116	111	269	317
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	297	66	108	103	405	169

（注）1. 減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社有形固定資産の減価償却費であります。

また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社の設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

1. 商品ごとの情報

(単位:百万円)

	住宅用資材	ビル用資材	D I Y商品	その他	合計
外部顧客への売上高	24,604	22,972	4,621	3,776	55,975

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

本邦の外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

1. 商品ごとの情報

(単位:百万円)

	住宅用資材	ビル用資材	D I Y商品	その他	合計
外部顧客への売上高	35,337	27,258	4,769	4,035	71,400

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

本邦の外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	ルート事業	直需事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	58	58

(注) 減損損失のうち52百万円は店舗閉鎖損失に含まれております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:百万円)

	ルート事業	直需事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	—
当期末残高	864	—	—	864

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:百万円)

	ルート事業	直需事業	全社・消去	合計
当期償却額	86	—	—	86
当期末残高	778	—	—	778

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

	ルート事業	直需事業	全社・消去	合計
負ののれん発生益	—	—	35	35

(注) 株式会社モリギンを2023年3月1日付けで吸収合併したことにより、負ののれん発生益35百万円を計上しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,931.80円	2,024.11円
1株当たり当期純利益金額	42.35円	111.85円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	潜在株式が存在しないため 記載していません。	潜在株式が存在しないため 記載していません。

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	227	600
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	227	600
期中平均株式数(千株)	5,365	5,365